

## 育児休業に関する体験記 2

30代 177日間取得

① 家事 ・ 育児 につ いて	<p>1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 家事や育児についてあらかじめ分担を決めておくことはしませんでした。 普段の家事と同じように育児に関してもお互いに出来ることを出来るときに行っています。</p> <p>2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について 仕事中は家事や育児を行うことができないため、終業後や休日にできる限りのことは すべて積極的に行うように心がけています。</p> <p>(妻 記載欄) 休業取得者の家事・育児の参画の状況について 家事や育児に関して積極的に参画してくれました。分担せずともやらなくてはいけないことを状況に合わせて行うことができたかと思います。</p>
② 仕 事 につ いて	<p>1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 自分の担当作業は休業取得前に区切りをつけ、引き継ぐことが無いようにしました。</p> <p>2. 評価・反省 会社の皆様のサポートや理解のおかげで大きな問題もなく休業することができました。休業前の会社からの説明や資料の確認がスムーズにできたおかげかと思います。</p>

③ 自由 記述 (400字程度)	<p>(取得者 記載欄) (例:育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応)</p> <p>育児休業の取得は以前からしたいと思っておりましたが、会社の皆様のサポートやご理解をいただき半年間の取得をすることができました。</p> <p>まずよかったですと感じる点は子供の最初の成長を自分の目で見ることができたことです。子育てが始まって子供の成長の早さには驚かされました。毎日顔が変わっていったり、動きや言葉、感情の種類がどんどん増えたりと、わかつっていたつもりですが想像以上に日々の変化がめまぐるしいものでした。この貴重な一つ一つの成長を見逃すことがなくてよかったですと感じます。復帰後はこれからまだまだおとずれる子供の成長の瞬間を見られないこともあるかと思いますが、半年間でたくさんの成長を見ることができたのはありがたいことだと感じました。</p> <p>次によかったですと感じる点は、半年間だけでも妻が初めての育児に一人で臨まずに済んだことです。育児は想像以上に大変なもので、わからないことや不安なことがあります。これを一人で行っていたら体力的にも精神的にも大変なものになっていたと思います。最初の何ヶ月かだけでも父親が育児休業を取得することは必要なことだと感じました。父親の育児休業がなければ育児のスタート時点で主体は母親になりますが、その時点で父親はどうしてもサポート役に回るようになってしまいます。ですが親の育児は“手伝う”ものではなく父親と母親の両方が主体となって行うものです。このことを改めて実感することができたこともよかったですの一つだと感じます。</p> <p>これまで子供と接することに苦手意識のあった自分が、子育てをしていくことができるのかと不安もありましたが、育児に専念することができた時間はよかったですばかりでした。育児休業を取得して本当に正解だったなと感じます。</p>
---------------------------	--